

# はじめに

喫煙が健康に及ぼす悪影響については広く知られていますが、我が国では男性の喫煙率は年々減少しているのに対し、女性はここ数10年ほとんど減少していません。特に喫煙率の高い20代・30代の若い女性の喫煙は、生活習慣病や呼吸器疾患等の発症リスクの増加に加え、生殖機能や妊娠への影響もあげられています。

日本産科婦人科学会が作成した産婦人科診療ガイドライン(産科編)においても、2011年の改訂版から喫煙相談の項目が新たに追加され、妊娠初期の喫煙の有無についての問診、喫煙妊婦への禁煙指導、喫煙の妊娠・胎児・小児へ及ぼす悪影響について啓発すること等が推奨されています。

奈良県では、平成25年7月になら健康長寿基本計画を策定し、10年後の健康長寿日本一をめざしているところですが、この計画で目標とする重点健康指標の1つとして喫煙率を10%未満とすることを目標としています。

このガイドブックは、妊産婦への保健指導に従事される産婦人科医療機関や保健所・市町村の従事者の方に、喫煙の妊産婦等への影響を理解し、禁煙支援にご活用いただくために作成したものです。これにより、妊産婦や胎児の健康障害の減少に寄与することを願っています。

最後に、本書の作成・監修にご尽力いただきました奈良女子大学高橋裕子教授に深く感謝申し上げます。

平成26年2月

奈良県健康福祉部  
健康づくり推進課